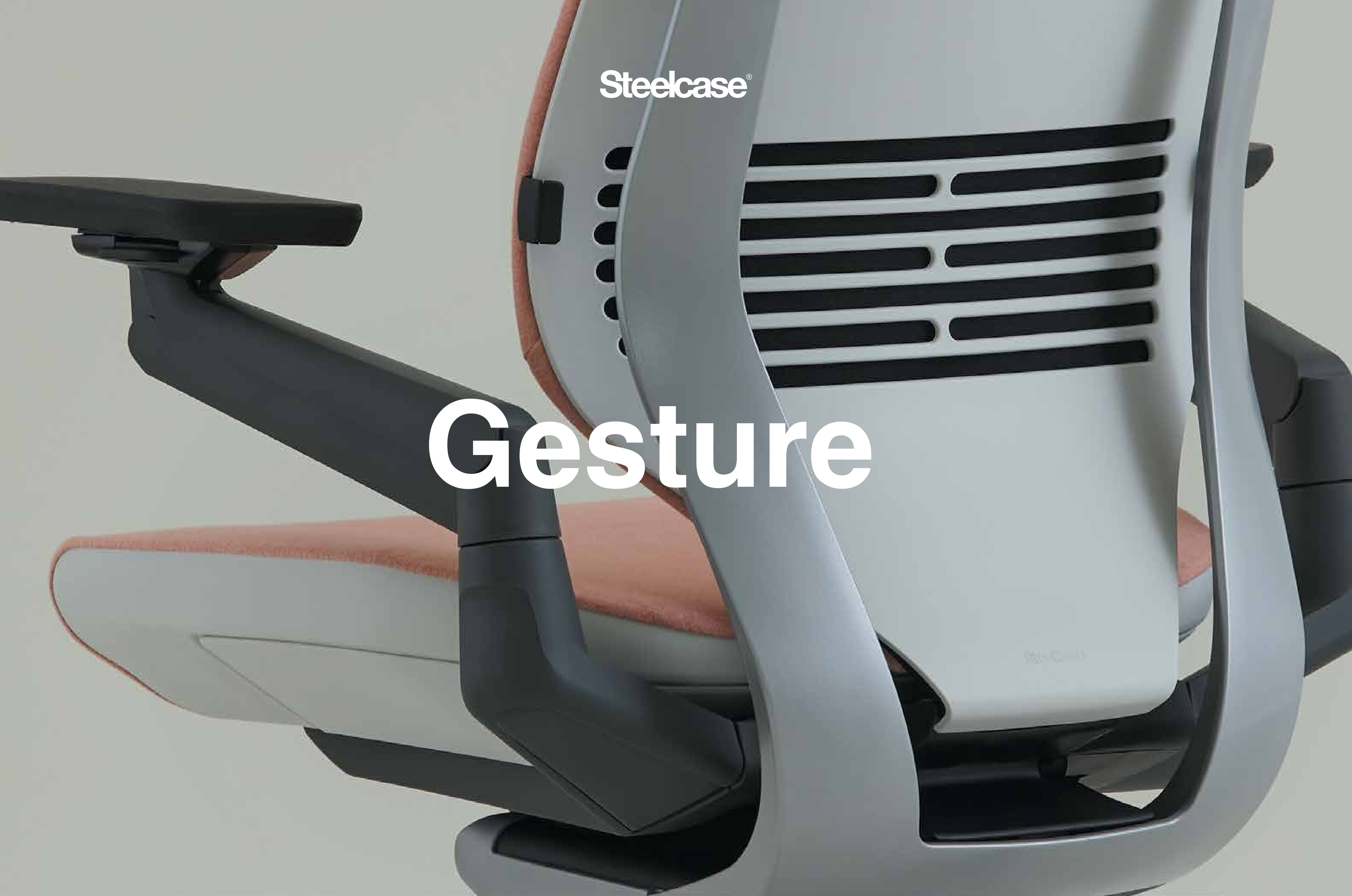
Steelcase®

Gesture



デザインストーリー

3 受け継がれる卓越性

4 意図を持った設計

5 グローバルな座位姿勢の研究

7 新たな「座る体験」

身体の動きを促す

9 3つのインターフェイス

10 コア・インターフェイス

12 アーム・インターフェイス

13 シート・インターフェイス

14 秀逸な調節機能

15 広範な対象ユーザー

サステナビリティ

17 ライフサイクル・アセスメント

18 より賢い素材選び

20 仕様 + 調節機構

21 仕上げ・張り地

22 ムードボード

24 スチールケースチェアが選ばれる理由

Meet Gesture

A Legacy of Distinction

受け継がれる卓越性

仕事で活用するテクノロジーが加速する中、座る姿勢が大きく変化していることに着目して開発されたジェスチャー(Gesture)。人体の動きを研究し尽くし、カーブ状背もたれや世界初の360°アームに代表される画期的な調節機能など独自の技術力と先駆的なアプローチで、ベストチェアとして名だたる賞に輝いています。

Voted Best Office Chair since 2015
Wirecutter

Sparks Awards
North America

Good Design Award
North America

Best of NeoCon
Gold Award

Product Innovation Awards
Grand Prize

Best of Year Award
Best of Year Honoree

Core 77
North America

HIP Award
North America

Good Design Award
Australia

Red Dot Award
Germany

Préventica Innovation Award
France

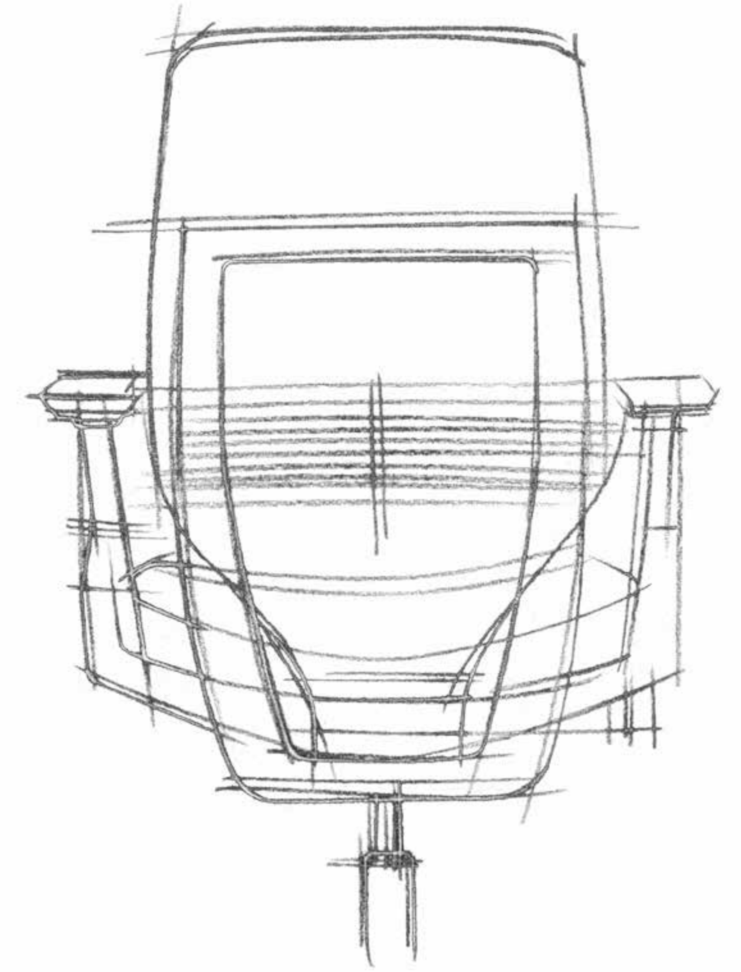
FX Award
United Kingdom

Designed with Intent

意図を持った設計

“開発にあたって、私たちがまず始めたのは、チェアのデザインではなく、人体の動きを徹底的に知り尽くすことでした。”

ジェスチャー担当デザイナー



“当社が実施した世界的な座位姿勢研究の結果を受けて、私たちは、チェアを分解し、座り心地の本質を徹底的に追求しました。グローバルチームを編成し、座って仕事をする際の人体の動き、座る姿勢とモバイルデバイスなど新たなテクノロジーがどう相互に作用し合うかを見極めました。”

スチールケース人間工学スペシャリスト

Global Posture Study

グローバルな座位姿勢の研究

問題を認識する

仕事や暮らしにおけるテクノロジーの浸透は、そこでの人の行動を大きく変化させている最大の要因です。当社の研究の結果から、1)モバイルデバイスがユーザーの行動や姿勢、働き方をどう変えているのか、2)働き方や座り方の変化によってもはや人間工学的に既存のチェアでは十分に対応できないこと、3)人間工学的にサポートされていない9タイプの姿勢が新たに登場していること、などが判明しました。

被験者2,000人
11カ国

ベルギー	ドイツ	ロシア
カナダ	日本	イギリス
中国	マレーシア	アメリカ
フランス	オランダ	

スチールケースでは、ユーザー調査を製品設計プロセスの中核に据えています。その人間中心設計プロセスが目指すのは、社会科学、人類学、民族学などの手法を採用したユーザーとそのニーズを起点にするモノづくりです。

ジェスチャーの開発は、2013年、11カ国、2,000人の被験者を対象にした世界規模での座位姿勢調査がベースになっています。同調査は、スチールケースワークスペースフューチャーズグループの研究員とスチールケースデザインスタジオの共同で実施されました。

Global Posture Study

グローバルな座位姿勢の研究

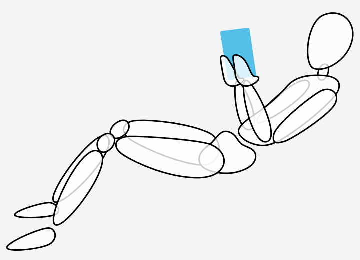
主要な知見

世界規模の座位姿勢研究から判明したことは、モバイルデバイスなど新たなテクノロジーの浸透によって、既存のタスクチェアでは十分に対応できない9タイプの姿勢が新たに登場したことです。これらの姿勢は人間工学的観点からサポートされていないため、結果として身体の歪みや痛み、不快感を引き起こす原因にもなっています。

新たに登場したデバイスが人体に及ぼす影響は軽視されてきました。今日の多くのチェアは、1つのタスク、1つのデバイス、1つの姿勢だけをサポートするように設計されています。そして、さまざまな小型モバイルデバイスが仕事や暮らしに浸透したことで、座った際の身体の動きや姿勢は変化し、既存のチェアがその変化に対応できていないということが問題でした。

働くことは、本質的に社会的な活動です。オフィスにおいては、個人の集中ワークとチームでの創造的なコラボレーションの間を行き来し、姿勢を変えながらタスクは遂行されています。そして、さまざまな世代や性別によっても姿勢のタイプや好みは大きく異なります。

ドロー型

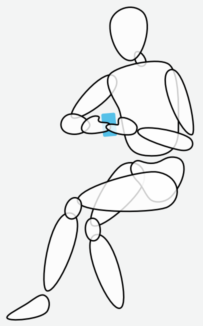


モバイルデバイスを使用。デスクからチェアを後ろに引いてリクライニングし、焦点距離を保つためにデバイスを身体に近づけ、画面を見ながら考えたり読んだりする。

マルチ・デバイス型

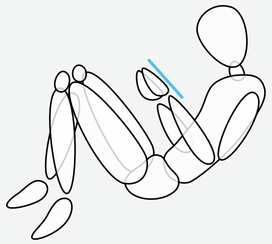
複数のモバイルデバイスを使用。片方の手で携帯を耳に当て、もう片方でノートパソコンの画面に集中するため前屈みでキーボード操作をする。

テキスト型



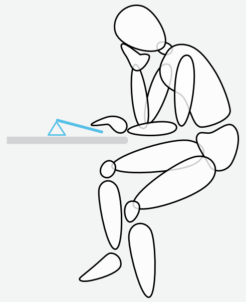
モバイルデバイスを持ちながら使用。腕を曲げてスマホで文字入力する。

コクーン型



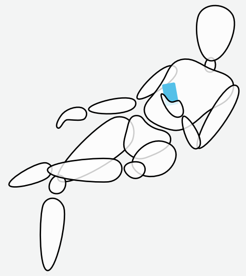
モバイルデバイスを持ちながら使用。リクライニングしながら膝を曲げて足をチェアにのせ、太ももで身体を支えてデバイス操作する。

スワイプ型



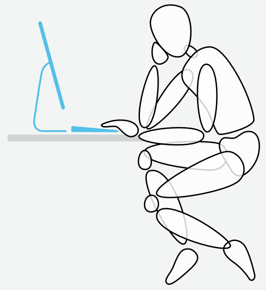
デスクでモバイルデバイスを使用。デスク上のデバイス画面と一定の距離を持ち、見下ろしながら片手でスワイプ操作する。

スマート・リーン型



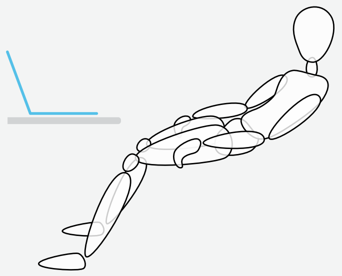
モバイルデバイスを持ちながら使用。ミーティング中に、一歩下がって身体を斜め後ろに傾けながらデバイスでメールチェックなどをする。

トランス型



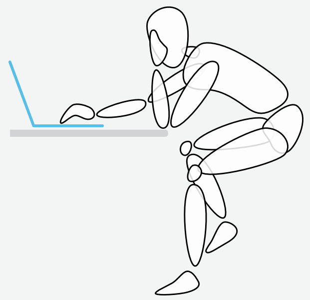
デスクでパソコンを使用。画面を見ながら、マウスやタッチパッド操作で長時間集中作業をする。

テイク・イン型



デスクでノートパソコンを使用。リクライニングしながら、デスク上の画面を眺めて情報収集したり、熟考したりする。

スクランチ型



デスクでノートパソコンを使用。長時間に及ぶとノートパソコンを遠ざけ、デスクに寄りかかりながら猫背姿勢で作業する。背中と首で姿勢を維持できず、操作しない方の腕で身体を支え始める。

A New Seating Experience

新たな「座る体験」

身体の動きを促進: 座っている際も身体を動かすことが心身の健康にとって大切です。ジェスチャーは、座っている間ずっと滑らかでダイナミックな動きを促します。

柔軟かつ強靭な中核(コア)部: 鍛えられた体幹(コア)が身体の健康につながるように、ジェスチャーは、安定したコアと身体のダイナミックな動きを可能にする柔軟性を備えています。

一体型設計アプローチ: ジェスチャーの主要パーツが調和して動きながら姿勢の変化をサポートし、その流れるようなシームレスなモーションが座りながらの身体の動きを促します。

高度な性能を実現: 綿密に設計された直感的なユーザーインターフェイスが使いやすい操作性を実現し、人間工学を駆使して調節機能の複雑さを解消しています。

Movement

Three Interfaces

3つのインターフェイス

1 **コア・インターフェイス**

人体は、上半身(コア)と下半身が連動して機能的に動いています。同様に、ジェスチャーの背もたれと座面はシンクロしながら動き、個々の体格にフィットしながら腰椎部に持続的かつ安定したサポートを提供します。

---

2 **アーム・インターフェイス**

まるで人間の腕のように動く360°アーム。使用するデバイスに関係なく、最適なポジションで腕を支えながら、肩にかかる負担を軽減します。アームは従来よりも後ろに設置されているため、より幅広い姿勢や座り方をサポートすることが可能になりました。

---

3 **シート・インターフェイス**

座面クッションは体圧を分散し、大腿部の血流を妨げることなく長時間にわたり快適さが持続できるように設計されています。座面奥行き調節は、座った状態で簡単に調節できるので、よくありがちな浅く腰掛けて姿勢が安定せずに猫背や反り腰など腰に負担をかける姿勢を回避できます。

The Core Interface

コア・インターフェイス

グローバル座位姿勢調査から導かれた知見によって、従来のライブバック機構(LiveBack ®)を革新的にアップデートし、さらにサポート力を高めました。3Dライブバック機構は、ユーザーが好む直感的サポートを高度にシンクロするインターフェイス構造で実現し、広範囲にわたる姿勢をしっかり支えることができます。

コア・イコライザー

従来のチェアでリクライニングする際によくありがちな背もたれと腰の間にできる隙間をなくし、安定したサポート力で腰椎周辺をしっかり支えます。背もたれ下部の強度を調整しながらあらゆる体格の人に持続的で一貫したサポートを提供します。

3Dライブバック機構

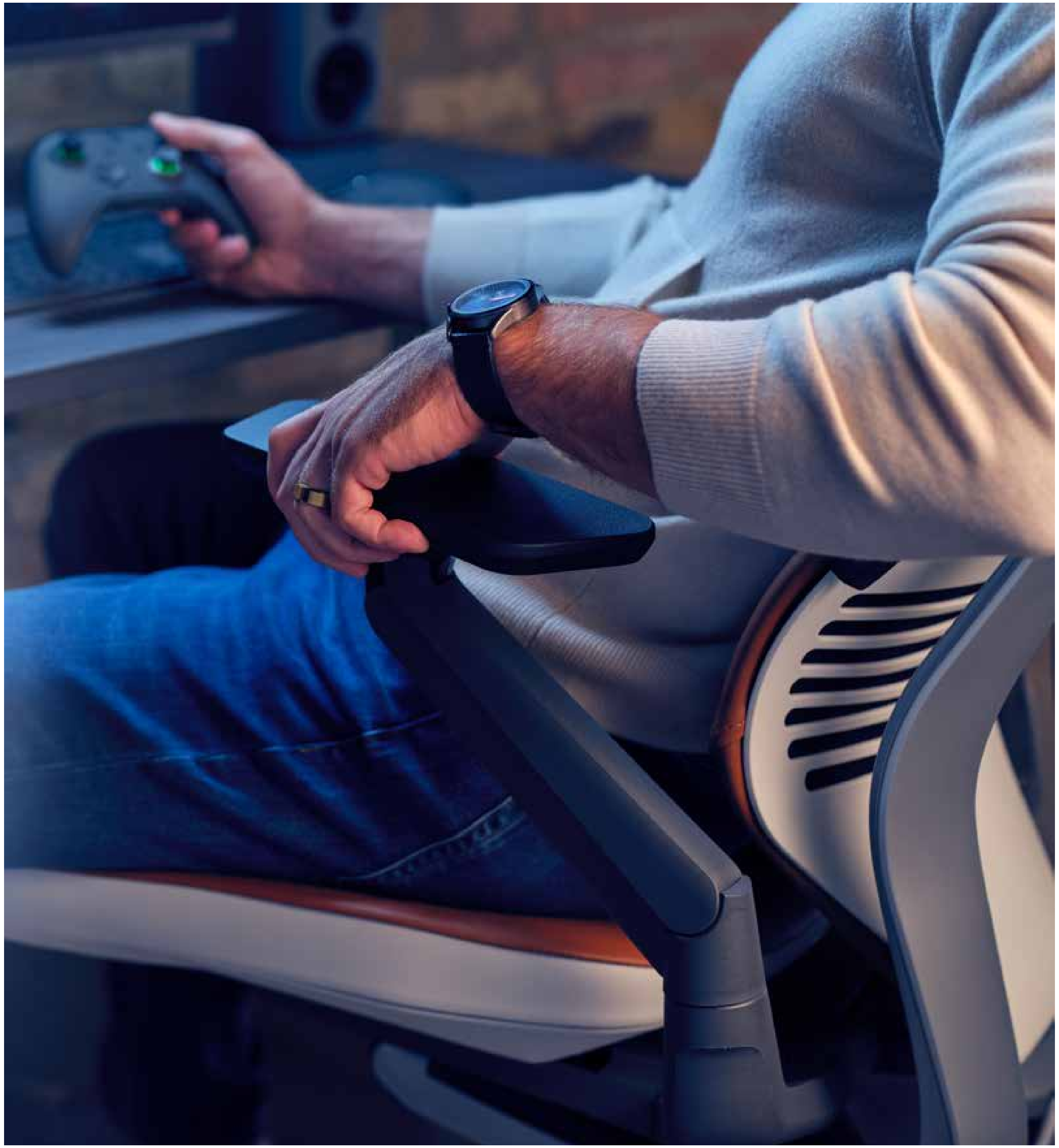
3Dライブバック機構によって、背骨の自然な動きを模倣するように背もたれがあらゆる姿勢や身体の動きに追従します。背もたれと座面、アームがシンクロインターフェイス構造として設計され、より幅広い姿勢をカバーしています。

最大の可動域を持つヘッドレスト

姿勢を変える際の頭と首の自然な動きにヒントを得たヘッドレストは、コア・インターフェイスを支え、これまでにない可動域を実現しています。頭のサイズとカタチ、首の長さ、ユーザーが欲する可動範囲を徹底的に研究し尽くし、高さ調節範囲12cm、前後角度範囲10cm、90°回転という優れた機能性を備えています。

The Arm Interface

アーム・インターフェイス



360°アーム

人間の腕のさまざまな動きを模倣するように設計されたユニークなアームは、比類のない調整機能を備えています。肘掛けの高さ、奥行き、幅を好みに合わせて調整でき、360°回転するため、好みの位置を広範囲かつシームレスに設定できます。これは、送り装置をひとつにすることで動きを滑らかかつ容易にし、座り手のニーズや好みに幅広く応える柔軟性につながっています。

さまざまなモバイルデバイスの活用を
チェアでしっかりサポート

人間の腕と同様に自由度の高い動きを特徴とする画期的360°アームは、座る位置や使用するデバイスに関係なく、ニーズに柔軟に対応します。座りながらスマホやタブレット、ノートパソコンなどさまざまなモバイルデバイスを操作しながら仕事をこなす今日、デバイスを切り替えながら健康的かつ快適に仕事を続行できます。

The Seat Interface

シート・インターフェイス

ジェスチャーの特長の一つである高度なシンクロ・チルト機構は、背もたれと座面がシンクロしながら動くため、手元の仕事との距離や視界範囲を維持したまま仕事を続行できます。追加で背もたれ反力と強度を調節ダイアルで手動で調節することで個々の好みに合わせた極上のフィット感を実感できます。

アダプティブ・ボルスタリング

座面クッション内のウレタンフォーム下に適応力が高いボルスタリング（エアポケット/戦略的コアリング） を備え、座った際のユーザーの体圧を分散し、身体の輪郭にぴったりとフィットし、圧迫感のない快適さを実現しました。

細部に渡る柔軟な仕組み

座面先端には、柔らかな熱可塑性エラストマー製の特殊成形エッジが採用され、パッシブ・フロント・エッジと組み合わさることで、座面エッジがしなりながら姿勢を支え、大腿部裏が圧迫されないように設計されています。

Complete control

秀逸な調節機能

ジェスチャーの調節機能は、個々の体格や好みに合わせて手動で調節が可能です。他のどのチェアよりも広い可動域を誇り、数回つまみを回すだけで正確なフィット感を実感できます。操作ダイアルは座面右下に集中装備し、座面関連は前方、背もたれ関連は後方に便利に配置されています。

1 バリアブル・バック・ストップ

操作ダイアルの内側を回すことで、姿勢を4段階（直角、中間2段階、フルリクライニング）で設定できます。

2 背もたれ反力

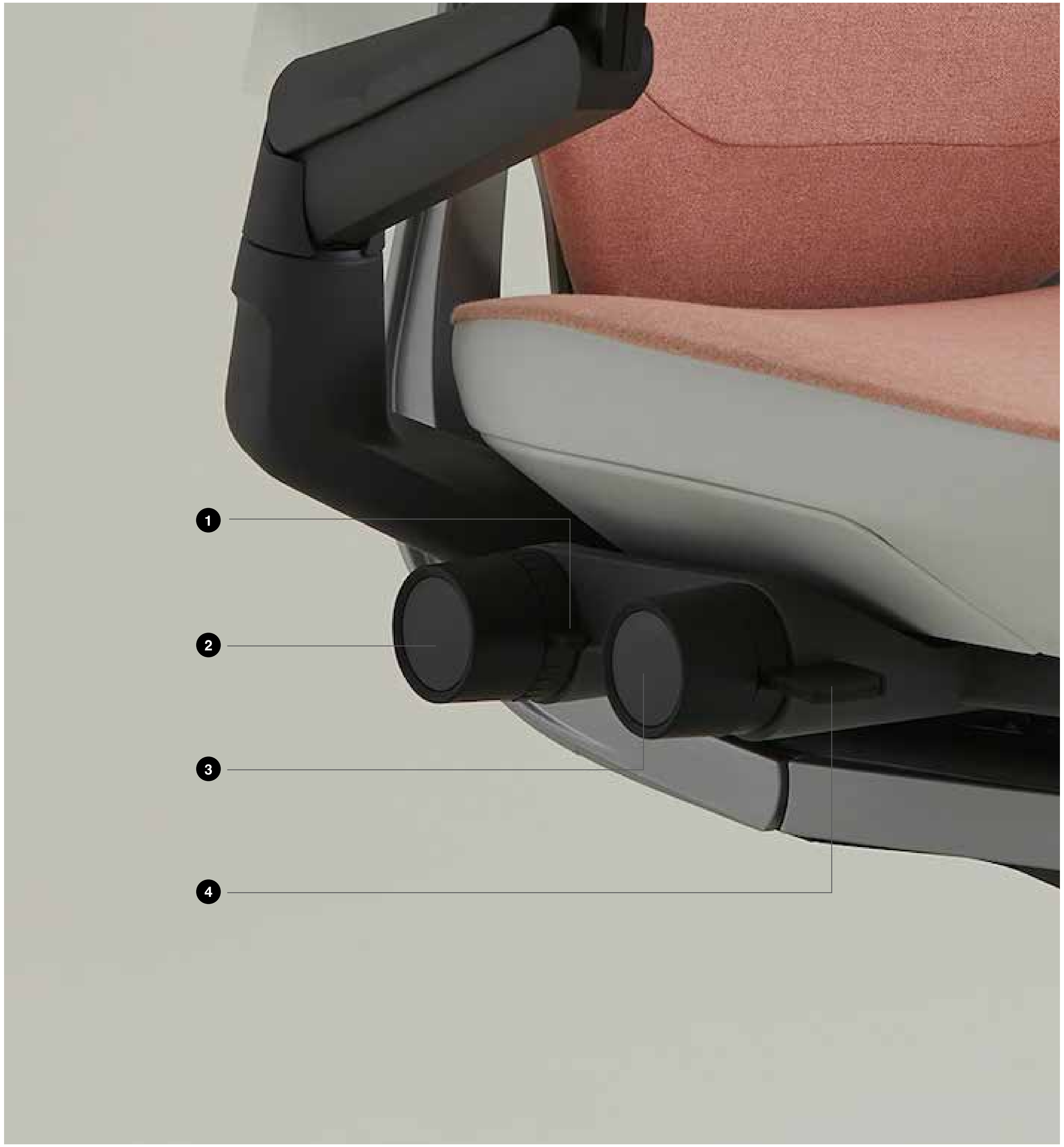
背もたれ反力を微調整しながら自分に合った快適さを設定できると同時に、直立姿勢やリクライニングした際の背もたれの強度も調節できます。

3 座面奥行き

座ったまま、つまみを手前に回すと座面が広くなり、狭くするには後ろに回してください。座面と膝裏の間に50〜75mmの隙間ができるように設定すると大腿部裏への圧力を和らげます。

4 座面高さ

足裏全体がしっかりと床またはフットレストについた状態で、膝の角度が90°または床と平行になるように座面の高さを調節します。



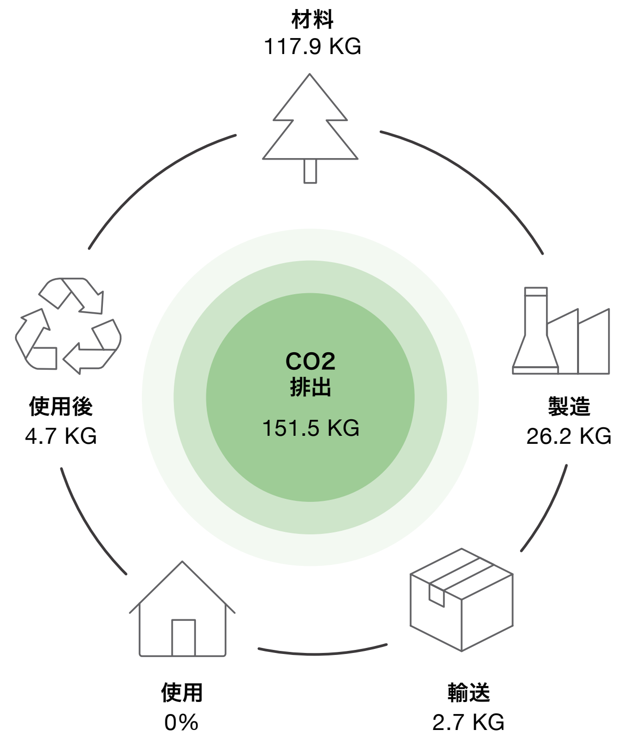
Range of Users

広範な対象ユーザー

体格は人によってさまざまです。ジェスチャーの特長は、その比類ない調節可動域と背もたれ反力、肘掛け幅やユニークな座面クッションによって、ワンサイズであらゆる体格の人をカバーしている点です。体格によってチェアのサイズを取り揃えて管理する無駄な運用や時間を省略できます。

Life Cycle Assessment

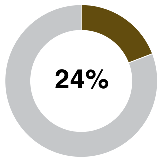
ライフサイクル・アセスメント



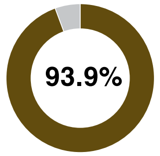
私たちは、人間と社会にとって有益な製品を生み出すよう努めています。気候変動の緩和を念頭に置いた製品開発において、材料調達からお客様に製品が届くまでの一連のプロセスで環境負荷軽減への取り組みが強化されています。

当社の製品は、持続可能な製品設計フレームワークをベースに、環境負荷を評価するライフサイクル思考と循環型モノづくりをベースに設計されています：

・責任を持って材料を調達する
・地球温暖化と環境負荷を最小限に抑える
・材料の安全性を確保する
・製品使用後戦略を実行する



リサイクル含有率



重量での リサイクル可能率

材料と製造

持続可能なモノづくりを念頭にした廃棄物、エネルギー消費、環境負荷を可能な限り抑えるような設計に加え、24%のリサイクル材の使用、材料と部品数の最小化を実現しています。

輸送

アジア太平洋市場向けにアジアで製造および輸送され、梱包材の容積を最小限に抑え、輸送時のエネルギー削減に努めています。

使用

製品の長寿命化に加え、製品保証も充実しています。製品の安全性を証明する米国内装規格のインドアアドバンテージ・ゴールド（Indoor Advantage™Gold）認証も取得しています。

使用後

製品の90%、梱包材の100%がリサイクル可能です。

Better Materials
より賢い素材選び

開発段階から責任ある製品使用後戦略（再販、改修、寄付、リサイクル）を念頭に設計されています。製品寿命後には迅速かつ簡単に分解でき、ご要望に応じて分解またはリサイクルの詳細を提供することも可能です。

製品構成

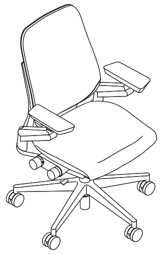
材質	重量(kg)	重量(kg)	資源タイプ
スチール	13.485	48.30	リサイクル、非再生資源
アルミニウム	0.997	3.60	リサイクル、非再生資源
ポリオキシメチレン (POM)	0.746	2.70	非再生資源
ポリプロピレン(PP)	6.544	23.4	非再生資源
ナイロン(PA6および PA66)	6.546	17.9	リサイクル、非再生資源
ポリウレタン(PU)	1.102	3.90	非再生資源
その他	0.611	2.13	
合計	27.878	100	

ジェスチャーは、性能テストを経て、下記の最も厳格な認証を取得しています：

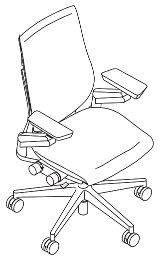
AFRDI Blue Tick
AFRDI Green Tick
SCS Indoor Advantage Platinum
Environmental Product Declaration (EPD) by NSF

VOGUE
GYPSET LIVING
AMERICAN FASHION

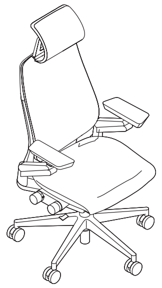
Features + Adjustability 仕様 + 調節機構



背/シェルバック
360°アーム



背/ラップバック
360°アーム



背/ラップバック
360°アーム
ヘッドレスト

サイズ

(BIFMA CMDで測定)

	チェア	ヘッドレスト付きチェア
全体の奥行き	534mm 〜 601mm	534mm 〜 601mm
全体の幅	569mm 〜 880mm	569mm 〜 880mm
全体の高さ	997mm 〜 1124mm	1194mm 〜 1448mm
座面奥行き	401mm 〜 470mm	401mm 〜 470mm
座面幅	508mm	508mm
座面高さ	407mm 〜 534mm	407mm 〜 534mm
座面からランバーまで	134mm 〜 235mm	134mm 〜 235mm
座面から肘掛けまで	185mm 〜 293mm	185mm 〜 293mm
アーム間の距離	261mm 〜 572mm	261mm 〜 572mm
アームキャップ角度範囲	15° 内側 15° 外側	15° 内側 15° 外側
アームキャップ奥行き	54mm	54mm

背もたれサポート
3Dライブバック機構と背もたれ下部強度内蔵型設計は、身体の動きを促しながら、背骨をしっかりと支え、自然なS字カーブを維持できるようにサポートします。

マニュアル調節
座面右下にある2つの調節ダイアルで個々の好みに合ったフィット感を調節できます。前方つまみは、座面高さと奥行き、後方つまみは、背もたれリクライニング角度と反力です。

360°アーム
360°全可動域で調整可能な肘掛け。人間の腕の動きを模倣した設計構造によって、複数の異なるデバイスを操作する際にも腕や肩を支えながら姿勢を保持できます。

ランバーサポート
コア・イコライザーは、背もたれと座面が連動しながら、あらゆるリクライニング姿勢で腰椎部に安定したサポートを提供し、追加としてオプションのランバーサポートも利用できます。

人間工学を配慮した座面
座面クッションの先端にしなる柔軟性を持たせているため、どんな姿勢でも大腿部への圧迫を軽減しながら快適な座り心地を提供します。

リクライニング角度調節
リクライニング角度範囲には、リクライニング傾斜角度だけでなく、それぞれの角度の背もたれ反力も調節できます。

調整可能なヘッドレスト
一体型ヘッドレストは、チルト調節と90°回転機能で、直立姿勢とリクライニング姿勢両方での快適性を提供し、首や肩の疲労を軽減します。

Surface Materials 仕上げ・張り地

フレーム･ベース･アーム/仕上げ

ペイント(ニュートラル)

- Black
- Sterling Dark
- Platinum Metallic

ペイント(成形)

- Black
- Merle
- Seagull

背･座/張り地

Otto (PG1)

- K601 Peacock
- K602 Lizard
- K603 Olive
- K604 Grass
- K605 Honey
- K606 Coral
- K607 Saffron
- K608 Merlot
- K609 Aubergine
- K610 Lagoon
- K611 Bluestone
- K612 Smoke
- K613 Iron
- K614 Ash
- K615 Charcoal

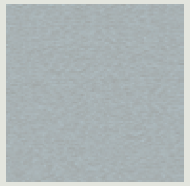
背･座/張り地

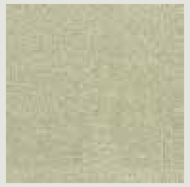
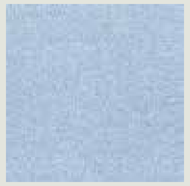
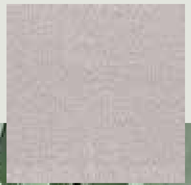
Medley (PG2)

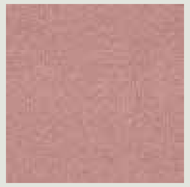
- 60003 Grey
- 60004 Pepper
- 60167 Grey Brown
- 60999 Pepper Black
- 61002 Beige
- 62002 Mustard Yellow
- 63017 Orange Mix
- 64019 Red
- 64125 Dark Pink
- 66008 Light Grey
- 66010 Blue
- 66144 Denim
- 67006 Sky Blue
- 67053 Water Blue
- 67054 Dark Green

Era (PG2)

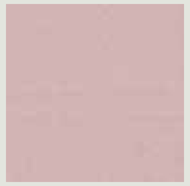
- 5ER0 Cobalt
- 5ER2 Blue Nickel
- 5ER3 Pistachio
- 5ER6 Truffle
- 5ER7 Saffron
- 5ER8 Pink Lemonade
- 5ER9 Onyx
- 5ES0 Scarlet
- 5ES3 Persimmon
- 5ES4 Sprout
- 5ES5 Blue Mint
- 5ES7 Night Owl
- 5ET1 Peach
- 5ET2 Cherry
- 5ET3 Fresh Green
- 5ET4 Jade
- 5ET5 Sky
- 5ET6 Cloud
- 5ET7 Ocean
- 5ET8 Stone
- 5ET9 Slate
- 5EU1 Pink
- 5EU2 Electric Indigo
- 5EU3 Green Citrine
- 5EU4 Storm Cloud

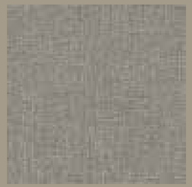


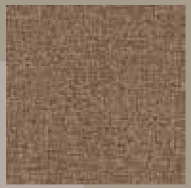


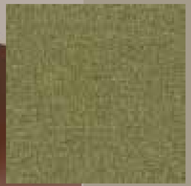
自然をヒントに生まれた明るく
表現力豊かな色彩は、オフィスに
「心地よさ」をもたらします。

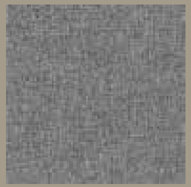




バイオフィリア効果を取り入れた温かみのあるニュートラルカラーと鮮やかな色彩の組み合わせ。自然が持っているパワーを活かし、「幸福度」の高いオフィスを演出します。







The Steelcase Seating Difference

スチールケースチェアが選ばれる理由

「それは単なるチェア以上のもの」、これが私たちのチェア開発の原点です。その根底に流れるデザイン哲学は、使い手のことを飽くことなく追求するモノづくりです。人がどう働き、動き、感じ、何を求めているかの本質を突き止めようとする深い探究心が新たな価値創出につながっています。調査から導かれた知見を結集し、妥協を許さない品質と職人技、サステナビリティ、それらのすべてが考え抜かれて私たちのチェアは誕生しています。

Steelcase®

steelcase.jp

AP2331E © 2023 Steelcase Inc. All rights reserved.
すべての仕様は予告なく変更されることがあります。ここに記載されているトレードマークは
Steelcase Inc.または関係各社の商標登録です。